

◆温暖化防止に役立つ『WEB』の紹介

感染防止のため、家で過ごす時間が長くなる今、インターネットを活用して居る方も多いと思います。そこで、ここでは、WEBや教材などをご紹介します。ぜひ、皆さんの暮らしや、温暖化防止活動に生かして頂ければと思います。

*環境省「授業に活かす環境教育」 <https://www.eeel.go.jp/env/nerai/index.html>
地球温暖化をはじめとする様々な環境問題が深刻化する中で、各人が環境を大切にすることを養い、環境に配慮した生活や責任ある行動をとることを通じて、社会全体を持続可能なものへと変革していくために、環境省は文部科学省と連携し、有識者からなる検討委員会の助言を得て、発達段階に応じた環境教育の「ねらい」(目標)、環境分野別の学習内容、その内容を学ぶべき教科についての調査研究を実施しまとめました。学校の授業で実際に行われた環境教育の事例をダウンロードすることができます

*全国地球温暖化防止活動推進センター「貸し出しツール」 <https://www.jccca.org/tool/>
地球温暖化を伝える活動に活かせる展示物や学習教材の無料貸出をしています。貸出できる数は、貸出物 7 点、期間は 2 週間、イベントや講座、授業などに、ぜひご活用ください。送料は負担

*国立環境研究所 動画チャンネル『ともだちに話したくなる！地球温暖化のリアル』
<https://www.youtube.com/watch?v=CCqVE7QU1Q>
地球温暖化をテーマに、江守正多氏(地球環境研究センター副センター長)によるトーク動画。
【ともだちに話したくなる！地球温暖化のリアル】第 1 回 地球温暖化のウソ？ホント

*マンガ「クールなちよい子さんが行く。」
<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/topics/20200326-01.html>
地球温暖化対策に資する賢い選択「COOL CHOICE」を、漫画で分かりやすく紹介する小冊子「クールなちよい子さんが行く。」シリーズ(全3話)を作成しました。日々の暮らしの中でなぜか密かに環境活動することが趣味のちよい子さんが、会社の仲間やお父さんと一緒に楽しく学びおトクに実践!

◆令和2年度 やまなしクールチョイスサポーター支援制度 ご案内

山梨県は県民が生活の中で身近にできる省エネの取り組みやエコ活動について、普及啓発を実践する団体を支援し、山梨県内の地球温暖化防止活動の活性化を図ります(山梨県からの委託で本センターが実施)。
※6月20日が第一次締め切りですが、支援金に余裕がある場合もあります。ご検討中の方はお問合せ下さい

- 先進的な取り組みの例「家庭でのエコ活動を推進する教材開発」「インターネット活用した学習の場」「異業種の環境勉強会」「新しいテーマの講演会」「児童を対象とした体験イベント」など
 - 対象/山梨県内に在住で、地域で温暖化対策となる先進的な事例に取り組むグループ(3人以上で構成)
 - 募集期間/2020年5月8日(金)~6月20日(土)
 - 対象となる活動期間/2020年8月1日~12月31日までにされる事業を対象とする
 - 支援金額/1件につき10万円まで
 - 対象経費/外部講師への謝金、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、機材・会場の借上費など
 - 支援方法/申請で承認を得た内容をサポーターが直接購入し、報告、後日支払い
 - 支援対象外経費/燃料費、食料費、光熱水費、広告料、保険料、駐車代、活動団体の人件費 等
- ★申請や報告に関する書類はWEBでダウンロード
<http://www.keep.or.jp/yccca/coolchoise.html>

発行;『山梨県地球温暖化防止活動推進センター』公益財団法人キープ協会

〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里3545キープやまねミュージアム内 TEL;0551-48-8011

FAX;0551-48-3577 Mail; eco@keep.or.jp URL;<http://www.keep.or.jp/yccca/>



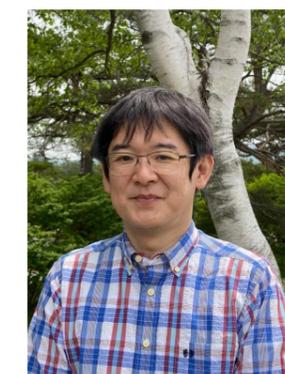
つうしん 18 号

◆山梨県の新しいご担当者『鈴木信也さん』より ご挨拶です

今年4月から環境・エネルギー課に異動して参りました鈴木と申します。昨年度までは、産業政策課で、県内の中小企業・小規模企業の振興に関する施策を担当していました。出身は東京都。縁があって山梨に引っ越してきてから20数年が経ちました。趣味は音楽鑑賞とユーフォニアムという楽器の演奏です。最近、吹奏楽アニメのタイトルに用いられて知名度が上がったのか、「何それ?」と言われる回数が増えました。どうぞ、よろしくお願いします。

さて、地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの排出を削減するためには、日常生活の中でできることに取り組むこと、即ち「賢い(クール)選択(チョイス)」の実践が求められています。そこで、「地球のために、今できる「賢い選択」を!」のキャッチフレーズにて、山梨県では昨年7月から「やまなしクールチョイス県民運動」を展開しています。

この運動に率先して取り組んでいただける個人・団体を「やまなしクールチョイスサポーター」として募集するとともに、サポーターへの支援も行っていますので、推進員の皆様には、昨年度に引き続き、これらの活動を広めていただきたいと思っています。よろしくお願いします。



山梨県森林環境部環境・エネルギー課
地球温暖化対策担当
主査 鈴木信也

◆やまなしクールチョイスサポーターを募集します!

県では、「やまなしクールチョイス県民運動」の趣旨に賛同し、サポーターとして、地球温暖化対策に率先して取り組む個人や団体・企業等を募集しています。個人や、職場やグループの仲間、あるいは企業のCSRの一環として、地球温暖化対策に取り組むやまなしクールチョイス県民運動へ参加しませんか。みなさんで県民運動の輪を広げていきましょう。



◆「エコメモ」を活用しましょう!

やまなし環境家計簿「エコメモ」は、地球温暖化対策の1つとして、家庭での取り組みを応援するプログラムです。光熱使用量(電気、ガス、水道等)を毎月記録することで、CO2の排出量が自動計算され、グラフや省エネアドバイスが表示されます。WEBだけでなく、スマートフォンアプリとしてお使いいただけます。また、ご家庭で取り組むだけでなく、グループや学校など、みんなと一しょに取り組む機能もあります。楽しく省エネを進めていきましょう。詳しくは → <https://yamanashi-ecomemo.jp/>

◆エコ×エネ体験・親子 DAY 開催します！

山梨県内の小学生(小学3年生～6年生)親子を対象に、「エコ×エネ体験親子 DAY」を開催します。「心に響く体験からエコロジーやエネルギーを学ぶ」をテーマに過ごします。自然の中で家族や仲間と一緒に遊びながら、地球の「循環」や「つながり」の輪の中で私たちが生きていることを考えられるようになる体験です。

太陽の光や樹木などの自然エネルギーの上手な利用を考える「おやつ作り」、自分で見つけた枝での焚火や森の探検などを通じた活動から、自然界のエネルギー循環やつながりを学びます。「気候危機」と私たちの生活がどうつながっているのか？を感じ、考え、想像してみましょう。

今年は笛吹市と北杜市の2か所で開催します。お近くの会場でご参加ください。

【第1回】

- ・日時:2020年11月29日(日) 11:00～16:00
- ・場所:山梨県北杜市清里(山梨県北杜市高根町清里 3545)
- ・対象:山梨県内の親子(小学3～6年生) 10組 20名
- ・参加費:無料(要予約)
- ※環境省 地域における地球温暖化防止活動促進事業



【第2回】

- ・日時:2020年12月5日(土) 11:00～16:00
- ・場所:山梨県森林公園 金川の森
(山梨県笛吹市一宮町国分 1162-1)
- ・対象:山梨県内の親子(小学3～6年生) 10組 20名
- ・共同主催:山梨県森林公園 金川の森
- ・参加費:無料(要予約)
- ※やまなし環境財団委託事業



- お問合せ/山梨県地球温暖化防止活動推進センター
電話 0551-48-8011 mail:eco@keep.or.jp

◆今年の夏は、「JICAやまなし」とのコラボ展示を企画中！

毎年、夏休みの期間に、山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンターにて、山梨県地球温暖化防止活動推進センターの展示会を開催しており、清里高原に来る観光客や県民の皆さんに環境教育を行っています。今年は新たな試みとして、JICAやまなしのご協力をいただき展示会を開催できることになりました。具体的な展示のテーマとして予定しているのは、以下の内容です。長年にわたり国際交流に通じてこられたJICAさんのノウハウと、センターのメッセージを織り交ぜる予定です。ぜひお越しください

*環境スケッチブック 5冊シリーズ

世界の環境問題の現状、それぞれが進行するとどうなるのか、世界中で一人一人がどう改善に取り組めるかについて、巨大絵本で紹介

*地球環境問題 アレコレすごろく

世界に起きている環境問題を遊びを通して知り、知らず知らずの内に私たちが受けている自然からの恩恵などにも気づける内容になっている。

*立体地図「世界のCO2排出量」

世界各地で、1人あたりどのくらいのCO2を排出しているのかを立体で表現した世界地図。目に見えにくいCO2をわかりやすく表現している

書籍のご紹介

世界的なコロナウイルスの影響で社会が大きく変化はじまりました。一人一人の心の中にも日々、いろいろな気づきと変化がおきています。この時期に奇しくも世にでた書籍を3冊ご紹介します。「もし、日本人と同様の暮らしを世界中の人がしたら、地球2.8個分の資源が必要」と言われています。「持続可能で幸せな社会」への変化に、この機会がなればと祈らずにはられません。

●1.5℃ライフスタイル—脱炭素型の暮らしを実現する選択肢～日本語要約版

小出瑠・小嶋公史・渡部厚志著 IGES(地球環境戦略研究機関) 2020年1月

本報告書は、ライフスタイル・カーボンフットプリントを軸に、私たちの日常生活での消費や行動が気候変動に与える影響を推定し、パリ協定の目標達成と豊かな暮らしの両立を探るものです。私たちの暮らしにも比較的取り入れやすく、効果の大きい具体的な選択肢や、推計される定量的効果がしめされているのも心強い1冊です。著書の小出瑠さんは、昨年度の関東ブロック推進員等合同研修会の講師の一人。以下ホームページからダウンロードできます。

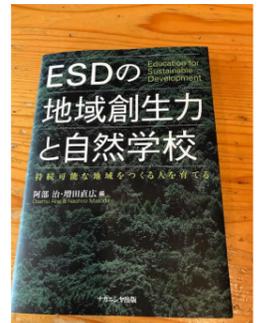
<https://www.iges.or.jp/en/pub/15-lifestyles/ja>



●ESDの地域創生力と自然学校～持続可能な地域をつくる人を育てる～

阿部治・増田直広編 ナカニシヤ出版 2020年3月

「ESD(持続可能な開発のための教育)による地域創生」をテーマにした1冊。全国の自然学校の地域創生につながる具体的な取り組みの紹介をもとに、上記テーマを紐解いています。森林面積が町の9割を占める北海道下川町の「NPO法人森の生活」は、「森林をいかし、人々の心豊かな暮らしと持続可能な地域づくりに貢献する」という使命を、教育を通して果たしています。新しい社会が地域から生まれてきている手ごたえを感じられます。山梨県内の事例も取り上げられています。



●「チキウニ ウマレテキタ」

小西貴士 風鳴舎 2020年4月

20年間、森と子どもたちをつなぎ、ていねいに写真を撮り続けてきた、森の案内人でもあり、写真家でもある著者。自然の中で過ごす子どもたちの姿の一枚一枚。自然に抱かれ、向き合い、溶け合うように過ごす子どもたち。それを見守る眼差し。たくさんの写真に添えられたちょっぴりの言葉と、巻末のエッセイ。自然と人、人と人が出会う中で育まれる「人が地球で生きていく上で大切な根っこの部分」を感じる本です。

今のような時期にこそ、私達はどこに向かって生きていくのか、何を大切にしたいか見直し歩き始めるチャンスでもあり、感じています。その参考になれば嬉しいです。

